

# 都市再生整備計画(第2回変更)

えじま しろこちく  
江島・白子地区

みえ すずか  
三重県 鈴鹿市

平成20年3月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	三重県	市町村名	鈴鹿市	地区名	江島・白子地区	面積	170 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

<b>目標</b>  大目標：地域の自然環境に配慮したまちづくり 〔目標1〕下水道(汚水・雨水)を整備して環境を改善する。 〔目標2〕漁港周辺を整備して漁業環境を改善する。
--

<b>目標設定の根拠</b> まちづくりの経緯及び現況  ・鈴鹿市の南部地域の東端に位置し、伊勢湾と接する。古くから白子港を中心に商人の町として栄え、伊勢型紙や鈴鹿墨などの伝統産業文化も現在に継承されている。白子港の北に千代崎海水浴場、南に鼓ヶ浦海水浴場があり、白砂青松の風光明媚な景観が海岸線に続いている。 ・特急停車駅である近鉄名古屋線の白子駅が隣接し、県土軸である国道23号線が南北に通っている。近鉄名古屋線より東地区においては、伊勢街道沿いに歴史的な街並みが残り、当時の面影が残され、南端部に白子漁港を有している。 ・近鉄名古屋線と国道23号線に挟まれた中地区は、区画整理事業(S57～H12)により店舗や良好な住宅市街地が形成されている。 ・一方、国道23号線より西地区においては、小規模の宅地開発等で都市基盤整備が立ち遅れ、住環境の悪化が指摘されており、緊急な整備が必要とされる地区である。このため、現在土地区画整理事業(組合施行・H14～H24)により、環境整備を行い、健全な市街地形成を図っている。また、この地区を含む233haの区域は、H13年度に策定された中心市街地活性化基本計画の区域でもある。
<b>課題</b>  ・白江土地区画整理事業の進捗に合わせて、公共下水道(汚水・雨水)の整備を早急に推進する必要がある。 ・白子漁港については、周辺の環境保全に努め、安全な漁業作業及び品質の高い水産物の生産をめざし、漁港の環境整備が必要がある。 ・伊勢湾沿岸域資源の減少、漁業担い手の減少及び高齢化の進行、漁業環境の悪化等多くの課題がある。
<b>将来ビジョン(中長期)</b>  ・公共交通拠点である近鉄白子駅があり、公共交通の利便性を活かし名古屋通勤圏を意識した住環境の整備に努める。 ・快適な生活環境づくりを目指し、計画的な公共下水道(汚水・雨水)の整備を推進し、白江土地区画整理事業の早期完了をめざす。 ・白子港周辺には千代崎海水浴場と鼓ヶ浦海水浴場があり、良好な自然景観を有していることから、水質や水際景観の保全を図る必要がある。

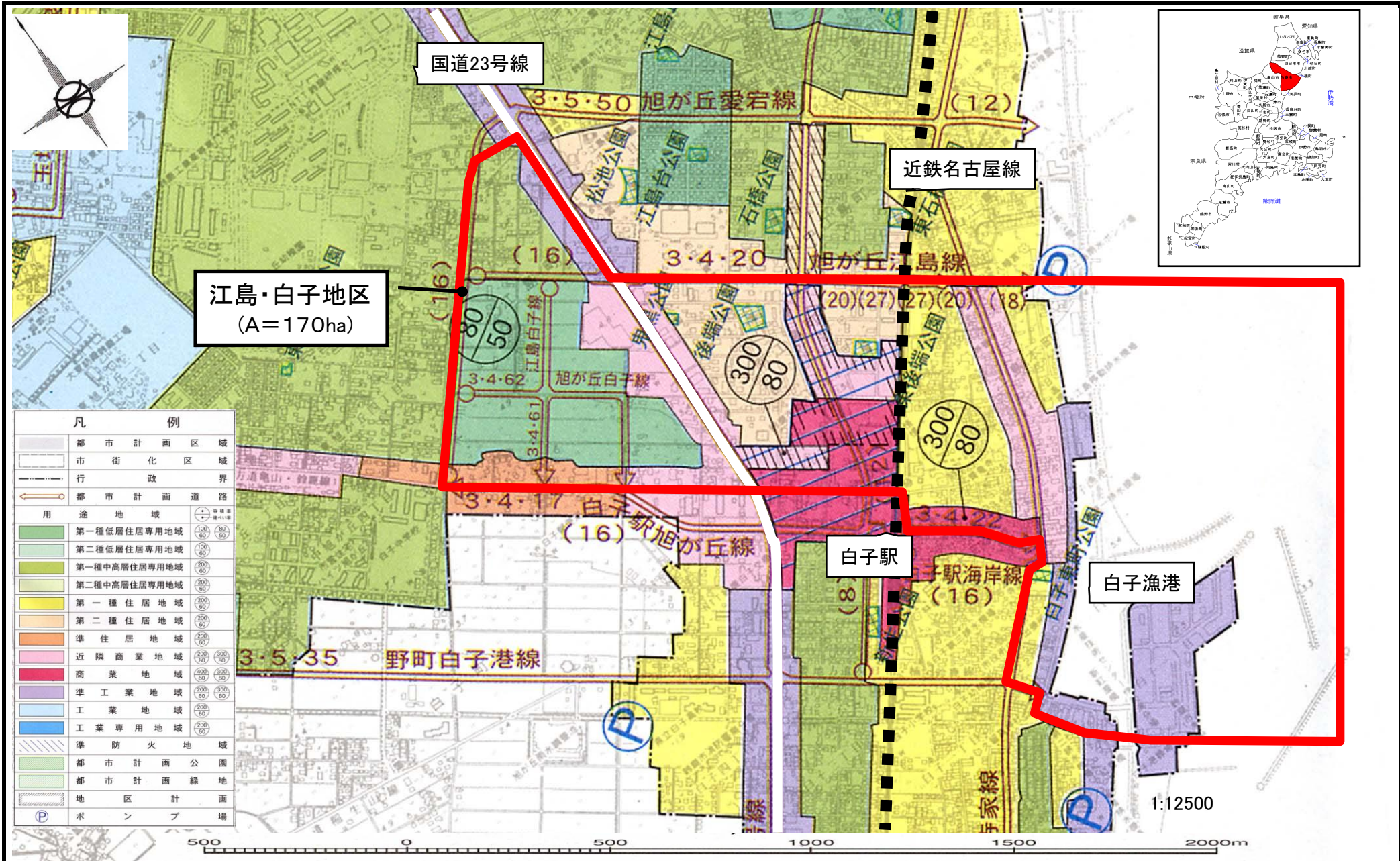
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
下水道普及率	%	地区内の公共下水道(汚水)の処理人口	地区内の公共下水道(汚水)の処理人口を指標とし、1%の増加をめざす。	76	H16	77	H22
漁業後継者人数	人	鈴鹿漁協白子支部における組合青年部人数	漁港の環境整備を行い、若手就業者にヤル気を持たせることで、人材を育成、確保し、漁協青年部人数の現状維持をめざす。	24	H16	24	H22
イベント参加延べ人数	人/年	鈴鹿漁協白子支部開催の参加延べ人数	鈴鹿漁協白子支部開催のイベントにより、漁港を訪れる人を増やす。	20	H16	200	H22

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>整備方針1: 下水道(汚水・雨水)の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鈴鹿市の公共下水道整備については、人口密度が高く、すみやかに投資効果が期待できる地域から、順次計画的に事業認可を拡大し経済的かつ効率的に整備を推進している。したがって、地区内西部の白江土地区画整理事業区域内においても、区画整理事業と歩調を合わせ推進していく必要がある。この西部地区の下水道処理人口普及率は、僅かに供用開始している戸数はあるものの0%に近い数値となっており、土地区画整理事業(区域内人口527人)の進捗にあわせて、早急に整備を行う。</li> <li>・雨水排水については、江島排水区(区画整理区域内の北側)と白子西部排水区(区画整理区域内の北側)に分かれており、各流末に、それぞれ雨水洪水調整池(1号調整池・2号調整池)を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■基幹事業 下水 白江公共下水道(汚水・雨水)事業</li> <li>□提案事業 地域創造支援 白江公共下水道(汚水)事業</li> </ul>
<p><b>整備方針2: 漁港の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁港環境の悪化により、水産物が激減し、また漁業従事者の高齢化及び若手就業者の減少など、漁業存続に対する課題は山積している。</li> <li>・生活排水等の流入により、白子港内でヘドロが堆積し、船舶の往来に支障を与え、干潮時にはヘドロが露出し悪臭を発生するためヘドロの浚渫を行う。また、白子漁港へのアクセス道路として白子本町205号線の道路改良も併せて行う。</li> <li>・漁業生産が減少していることから、水産資源の安定供給のため、ヨシエビやガザミの稚魚、アサリの稚貝の種苗放流する。また、地元保育所や小学校にも参加を呼びかけ水産振興を行い、白子漁港及び漁業の活性化を図る。また、活性化につながる他のイベントも検討していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■基幹事業 道路 白子本町205号線道路改良事業</li> <li>□提案事業 地域創造支援 白子漁港環境整備事業</li> <li>□提案事業 地域創造支援 白子漁港水産振興事業</li> </ul>
<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※鈴鹿市の公共下水道事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和63年度に流域関連下水道として事業着手、平成18年度末現在の下水道普及率は、39.0%</li> </ul> </li> <li>○関連事業 白江土地区画整理事業(H14～H24) <ul style="list-style-type: none"> <li>・本地区は、国道23号線、県道亀山鈴鹿線が走る交通の要衝であるが、近年市域の人口増加に伴い小規模開発の宅地化が進み、都市基盤整備の立ちおくれによる住居環境の悪化が指摘されており、今後公共・公益施設の緊急な整備が必要とされる地区である。このため現在、土地区画整理事業により、国道23号線沿線沿いにふさわしい環境整備を行い、健全な市街化形成を図る。</li> </ul> </li> <li>○関連事業 白子港水産関連施設整備事業(三重県水産振興事業団補助) <ul style="list-style-type: none"> <li>・水産加工場の建設 用地取得(鈴鹿市土地開発公社先行取得、227百万円) 建設費(200百万円・漁協)</li> <li>・水産学習会館(200百万円・漁協)地元水産物を使用しての料理教室及び環境学習ルーム</li> <li>・漁港直売所の拡大(50百万円)</li> </ul> </li> <li>○関連事業 漁協経営構造改善事業(事業費185百万円・漁協・農林水産省補助有・平成16年整備済) <ul style="list-style-type: none"> <li>・水産物の鮮度を保つために海水を凍らせ使用。水道水に比べ氷点がさがり、解けても海水なので、海にやさしく環境に良い。</li> </ul> </li> <li>○関連事業 沿岸漁業改良事業(事業費89百万円・漁協・農林水産省補助有・平成12年整備済) <ul style="list-style-type: none"> <li>・鈴鹿市の主力漁業であるノリ養殖(黒ノリ)の集荷場</li> </ul> </li> <li>○関連事業 森林植栽事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林は、植物性プランクトンや海草の育成等、海の環境に深く関わっており、森林組合と漁業協同組合が主体となって荒廃した森林の再生に向けた森林づくりや海の環境美化を行う。</li> </ul> </li> <li>○関連事業 道路側溝清掃事業(毎年実施) <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活排水等で道路側溝等に堆積したヘドロを清掃する。</li> </ul> </li> </ul>	



江島・白子地区(三重県鈴鹿市)	面積 170 ha	区域 江島1・2丁目, 中・南江島, 江島本町, 江島町, 白子1丁目, 白子本町, 白子駅前, 白子町
-----------------	--------------	---



エジマ・シロコ  
江島・白子地区(三重県鈴鹿市) 整備方針概要図

目標	地域の自然環境に配慮したまちづくり	代表的な指標	下水道普及率 (%)	76 (16年度) → 77 (22年度)
			漁業後継者人数 (人)	24 (16年度) → 24 (22年度)
			イベント参加延べ人数 (人)	20 (16年度) → 200 (22年度)

